

科目名	長期インターンシップⅠ Long-Term InternshipⅠ	科目コード	61210
-----	--------------------------------------	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	学科長・教務主事
区分・単位数	履修単位科目・選択・2単位
開講時期・時間数	後期，80～160時間【内訳：講義0，演習0，実験0，その他80～160】
教科書	
補助教材	「インターンシップの手引き」学校配布資料
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

企業等において2～4週間の業務を体験することにより、学校での学習成果をもとに現実の課題に取り組む課題解決力を身に付ける。また、この体験を今後の学習に役立て、技術者への自覚や心構えを養う。更に、地域社会の課題やグローバル化等の企業が抱える課題に対処できる能力を育てる。

○関連する科目：企業実習Ⅰ，Ⅱ（前年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(F)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 企業等での仕事を体験し、技術者としての心構えや仕事に必要な知識を身に付ける。	60%	(f1)
② 企業等での仕事を体験し、実社会での課題の把握や課題解決能力を身に付ける。	40%	(f2)

【C. 履修上の注意】

在学中に企業等の現場で実際の仕事を体験することは意義深いことであり、今後の学習や将来の進路を考える指針を得る機会とすることもできる。実習先では、真摯な態度で業務にあたること。実習報告書や口頭発表では、事実の報告に加え、技術者としての使命や能力について、実習を通じて考察した内容に言及すること。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- レポート（40%）【実習内容の報告書】
- 実習先での取り組み状況（40%）【実習先の責任者から提出される評価報告書】
- 報告会での発表（20%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】 ● 後期

項目	内容	備考
1	資料収集・希望実習先の検討	
2	実習先の決定と受講手続き	
3	実習先の調査および当該地域の情報収集	
4	実習内容の検討及び受入先との調整	
5	実習前の事前学習	
6	実習（8時間×10～20日相当） 実習先において、定められた期間実習を行う。	
7	実習報告書の作成	
8	実習報告会	